

インストール方法

✖ 次の場所を開発ディレクトリーに選ぶことは止めておいた方がいいです

- **NAS** - UNCパスに対応していないライブラリーがあり、インストールに失敗する。vite や esbuild など。

(必要であれば) ローカル・リポジトリの設定

- git を使う予定であれば、先にリモート・リポジトリとの接続を確立しておいた方が楽です。

パッケージ・マネージャーの用意

- 本書では、パッケージ・マネージャーは pnpm を使うとします。
- 以下のコマンドを打鍵して、既にインストールされていないか調べてください。

```
pnpm -v  
# もしインストールされていれば、バージョン番号が出る。例：  
# 10.15.0
```

- pnpm のインストール方法
 - pnpm は npm を使ってインストールします。
 - npm は Node.JS に付属しています。

Windows の場合、Node.JS のホームページから .msi インストーラーをダウンロードして Node.JS をインストールする。

```
# Node.JS のバージョン確認  
node -v  
# 例：  
# v22.19.0
```

Windowsにて、npm, pnpm の両方のバージョンアップ：

```
npm install -g npm  
npm install -g pnpm
```

```
pnpm -v  
# 例：  
# 10.15.0
```

(必要であれば) 既存フォルダー、ファイルの削除

- (再インストールであれば) 以下のフォルダー、ファイルを削除しておくと確実です。

(パワーシェルではなく) コマンドプロンプトを使う。

- `📁 node_modules` フォルダーを削除。
- `📁 src-tauri/target` フォルダーを削除。
- `📄 pnpm-lock.yaml` ファイルを削除。

インストール

以下の2つをインストールする方法を説明します。

1. フロントエンドの TypeScript 環境
2. バックエンドの Rust 環境

(1)

```
# フロントエンドは、通常はこれだけ
pnpm install
  # 📁 node_modules フォルダー等が生成されます。

# それでダメならこれ
#pnpm install --shamefully-hoist
```

(2)

```
# バックエンドで Rust も使うので、これも。
cd src-tauri
cargo check
cargo build
```